人は何故か生まれて、死ぬまで生きることを続けなければならない、そんなある日、メールボックスにこんなメールが届く。

件名はwas born.

was born.という難解な手紙に返信しよう。

人生には三つの原則がある。産まれる、生きる、死ぬ。
そのうち私たちが自由に選択できる権利は生きる事
のみだ、産まれる、死ぬ。は選ぶことができない。

水墨画、僕が選んだ生きる権利。

そこから今回の
謎がとける思うんだ。

和紙は産
またての
赤ん坊の
様。

滲みは青春を
生きる様。

墨は人生の死の様。

僕は水墨画によって人類が
誕生した理由を証明する。

M
AG

この続きは僕のエキシビション
でお見せしましょう。

MAGO 真護

1984年 日本 福井県生まれ。

近代水墨画家。 墨、和紙で描かれる古来技法からなる現代的LIVE ARTを日本、NY、台湾、中国で展開。２０１０年5月に行われた東京ビッグサイト「デザインフェスタ」では福井県とのコラボ企画で福井県立恐竜博物館のART PRを担当。幅８メートル、高さ3.45メートルの越前和紙に即興で恐竜骨格を描き上げた。更に2010年8月には国内最大の音楽フェス「SUMMER SONIC 2010 SONICART」に最年少で出場し、「死してな音」という美人画、ROCK、スカルが融合したライブペインティングを披露（2011年も連続出場）。同年、携帯3キャリア公式モバイルコンテンツ「待ち受けアートパラダイス」配信アーティストに選ばれ3度の週間ダウンロード第１位を獲得。

他にも、福井駅前巨大アート「∞の輪」のプロデュースを初め、 YKK広告イラスト、Levi'sデニムパンツ、LITHIUM HOMMEのグラフィックデザイン、EMI Music Japan レーベルロゴデザインなどを担当、勢力的にその活動の幅を広げている。2012年1月には、ファイナルファンタジーのデザイナー天野喜孝氏と同時開催された東京初の個展が大成功に。また4月からはNHK総合「頭がしびれるテレビ」のアートデザインを担当。

7月渋谷東急文化村ギャラリーにて個展を開催。